北九州市立尾倉中学校　学校通信　第38号

おぐら
尾倉

＜校訓＞
自主
創造
協力

令和3年6月15日(火)発行
校長　栗原博巳
北九州市八幡東区尾倉三丁目10番1号
HP: www.kita9.ed.jp/ogura-j/

＜学校教育目標＞
　豊かな心をもち、健やかでたくましく行動する生徒の育成～みんなで考え、みんなで取り組み、みんなでつくる尾倉中学校～
＜目指す生徒像＞
① 感性豊かで、意欲的、主体的に学習する生徒
② 健康で明るく、思いやりのある生徒
③ 礼儀正しく、奉仕の精神に満ちた生徒
◇ 元気のいい挨拶・礼儀・身なり・学習規律と集団生活における規律とマナー

将来の日本を担う皆さんの更なる成長を期待！

スケートボード日本代表岡本碧優（みすぐ）さん13歳

　最近、10代、20代の人たちの活躍が本当にすばらしいと思います。それも世界的レベルです。　スポーツ部門では、ゴルフの笹生優花選手(19)、水泳飛び込みの玉井陸斗選手(14)、卓球の張本智和選手（17）など、心・技・体でレベルが高い選手が出ています。「日本人は、体力が欧米の選手より劣り、本番に弱い」と言われていた時代が嘘のようです。北九州市の中学生はここ数年、47都道府県中、上昇の兆しを見せています。生徒のみなさんはやればできるのです。

　上に取り上げた選手を見て、すばらしい素質をもって生まれてきていることは確かかもしれませんが、それにおぼれることなく「小さいときからずっと努力を続けてきていること」や、インタビュー等でみせる受け答えや表情などから「謙虚さと言いしれぬ人間的な魅力」を感じます。

　この若さでどうやって自分のものにしたのでしょうか。非常に難しい技能と人間的な成長を短期間で会得したのですから驚きです。人間の「よき」成長には、2つの大きな欠かせぬ要素があると思います。その第一は、「将来の自分を信じてたゆまぬ努力を継続すること」。次は、「よき指導者や支えてくれる家族のもとで頑張り抜くこと」です。

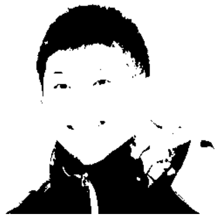
「天才とは1%のひらめきと99%の努力である」「努力せずに何かできるようになる人のことを「天才」というのなら、僕はそうじゃない。努力した結果、何かができるようになる人のことを「天才」というのなら、僕はそうだと思う。人が僕のことを、努力もせずに打てるんだと思うなら、それは間違いです。」前者は有名なエジソンの言葉、後者はイチロー選手の言葉です。何事も努力なしには達成できません。また、その努力できることが「人」に与えられた才能だと思います。常に努力できる人間であってください。

　よき指導者に恵まれることは運が作用しますが、大切なのは、よき指導者を求めつつも、自分を成長させる努力を怠らないことです。よき指導者に巡り会えないから自分は成長できないと思っているのだとしたら、それは間違いだと思います。よき指導者に指導してもらうほうがよいに決まっていますが、自分の力で自分の可能性を切り開いていく頑張りが何よりも大切です。また、上に挙げた選手は、自分の好きなスポーツを心から楽しみながら行っているように見えます。それも大切な点です。そして、家族は生徒の皆さんの一番の応援団であることを付け加えておきます。

　将来の日本を背負う皆さんには、ぜひ、自分の夢や希望を、悲壮感をもって取り組むのでなく楽しみながら努力し実現させてほしいと思います。そのお手本が目の前にたくさんいるのですから。高い意志をもって、自己のさらなるバージョンアップをめざし頑張ってほしいと思います。尾倉中生徒の皆さんの大いなる成長を心から期待します。

○●

2021年　全米女子オープンゴルフ　史上最年少優勝　笹生優花（さそう　ゆうか）



飛び込み 14歳　玉井陸斗が東京オリンピック内定

張本　智和は国内外で次々と最年少記録を更新し、東京五輪の金メダル候補